

風邪をひきました。子供の頃の風邪は母親がいつもより優しくなったり、薬が甘くておいしかったりして嬉しいこともあったけど、〃風邪のひき始めを気に掛けて教えてくれる人がいなくなつてからの風邪〃は、ひいていることに気づく時はいつもひどくなつていて、「風邪つてこんなにつらいものだったっけな」って毎回思うほどに苦しいです。麦茶を飲もうと思つて台所まで行つたら、力尽きてしゃがみこんでしまいました。ふと寄りかかった冷蔵庫から伝わる温かさが、人の体温に似ていて離れられない。床に転がつている、いつか行つた居酒屋から届いたダイレクトメール発見。

「お待ちしています、また是非お越し下さい」

〃オマチシテイマス〃 って言葉が胸に響いてくる、随分ヨロヨロしてるなあ、私。

嘘の温もりに寄りかかりながら、こんな時でもやっぱり君のこと考えはじめました。風邪と同じで、いつからか恋もつらさしか感じないようになつてきた。「自分が傷つかないように」と、「自分がみじめにならないように」と、「相手に迷惑をかけないように」

つて思いが大きくなつて、全然自由に動けない。

君が素っ気ないとどん底で、君が優しすぎると信じられなくなる。余計な知恵や、守らなければいけないルールを覚えてからの恋はどうしようもないね。生きていく為に必要な条件をひとつずつ覚えるたびに、相手に求める条件も一段ずつ高くなつてしまつたりもして。そんな恋愛をするようになってから随分経つはずなのに、今の私は無条件に君のことが好きで、好きで、好きで……好きです。

知らぬ間に身についてしまったプライドや見栄、生まれつきの素直じゃない性格で君に嫌われてしまうことが死ぬほど怖いので、こじらせる前にもう一度。

あなたのことがとても好き。

*本当の「恋する気持ち」を忘れてしまつていた時に、強烈な恋に落ちて戸惑う心。